

ベトナム オフショア 開発 サービス

スマラボのご紹介

www.sma-labo.jp



会社概要

2

商号	株式会社アイディーエス
設立	1996年12月（設立27周年）
売上高	32億円（2023年6月期）
主要事業	<ul style="list-style-type: none">・システムインテグレーション事業・AWS総合支援事業（Sunny Cloud）・オフショアラボ事業（スマラボ）・システムエンジニアリング事業・マスタメンテナンス機能特化型SaaSサービス（SMOOZ）
本社	〒105-0014 東京都港区芝2-3-18 YM芝公園ビル5階
関係会社	International Digital Services Vietnam Co., Ltd (IDS Vietnam) Floor 4, NTA Building, 171-173 Dien Bien Phu Street, Da Kao Ward, District 1, Ho Chi Minh Ci System Sustainability Vietnam Joint Stock Company (SSV) Thanh hoa省, Vietnam
従業員数	154名(2023年8月末時点) 株式会社アイディーエス：89名、 IDS Vietnam：65名
代表者	中野 貴志（代表取締役）

2000年

フィリピンや中国のオフショア企業に
自社請負開発案件を依頼

2014年

ベトナムのオフショア企業に
自社請負開発案件を依頼開始

2017年
2月

ベトナム・ホーチミン市に
100%子会社のオフショア開発拠点を設立
“スマラボ”サービスの開始

2024年
1月

一般社団法人ベトナムオフショア開発協会を
立上げ、代表理事に就任

2024年
3月

ベトナムタインホア省にCOBOL専門の
System Sustainability Vietnamを設立

20年以上のオフショア開発経験 を元に、御社のオフショア 活用をサポートいたします。

弊社のオフショア開発サービスは、自社の人財リソースの課題を解決するところからスタートしています。

2017年に拠点を設立したベトナムは、政府の支援により優秀なIT人材が豊富（平均年齢32歳、IT従事者100万人）であり、インフラ環境に優れ（4G網の人口カバーレージ95%）、勤勉で親日の国民性、1/2程度の人件費、日本との時差-2時間など、オフショア拠点として非常に優れております。

私たちはベトナム拠点の設立にあたり、ベトナム人エンジニアたちと深くコミュニケーションし、共に開発を行う事で多くのナレッジを得ることが出来ました。そのナレッジを次は人材課題を抱える多くの日本企業に対して提供させていただきたいと考えております。

スマラボは、日本のシステムインテグレーターによる、
日越ハイブリッド型オフショア開発サービスです

Point
1

オフショアの
内製化を
支援

単なるオフショア人材提供ではなく、オフショアを内製チームとして活用する上での教育や、PJ運営支援を実施

Point
2

One stop

ソフトウェア開発だけではなく、AWS領域も対応可能

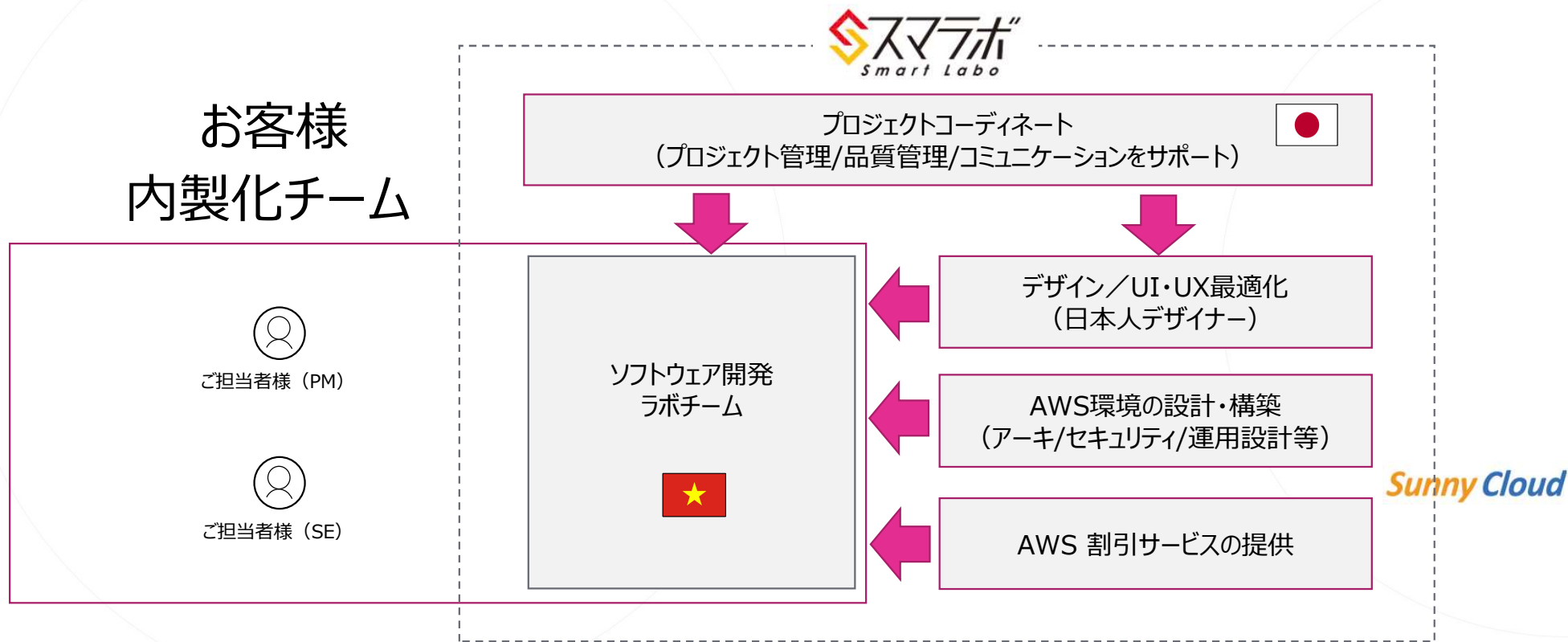
Point
3

Japanese
Style

日本企業に特化したサービスで、契約やトラブル対応は日本側
日本人によるサポート付き

日越ハイブリッド体制でオフショア開発をサポート

デザインからクラウドまで、ワンストップでお客様のソフトウェア開発を支援いたします



※ オフショア開発会社では、ソフトウェア開発のみの支援が一般的です。
※ SunnyCloudは、当社が提供しているAWS構築支援事業のサービス名です。

ラボ型開発に特化したサービスを提供しています

ラボ型開発とは、一定期間（3カ月単位）の契約を締結し、貴社業務対応専任チームに指示し、自由に開発を行っていただく形態です。優先順位に基づき柔軟に開発を進めることができ、非ウォーターフォール型開発手法の採用や、空き工数に別の業務を依頼できるなど、自由度が高く、一定期間、専属のチームと開発を行う事によるナレッジの蓄積で、生産性と品質を向上させながら、安定的な開発を行うことができます。

対応領域

■ 業務システム開発（営業支援、社内ポータル、業務管理システム等）

・B2E、B2Bなどの独自業務システムの開発を行います。

■ Webサービス開発（マッチングサービス、施設予約、ストレージサービス等）

・新規自社Webサービスの開発、B2C向けのWebサービス等の開発を行います。

■ モバイルアプリケーション開発

・iPhoneやAndroidアプリの開発を行います。

■ 保守開発業務（他社からのシステム引き継ぎ可）

・システムの継続的な保守開発業務を行います。

技術領域について

	FrontEnd	BackEnd	FrameWork	Infrastructure
当社	Vue.js React.js	PHP Python C#	Laravel Cake PHP (Symfony)	AWS
提携先	Flutter Angular Next.js	Java Go Lang COBOL		AWS Azure Google Cloud

- 当社のエンジニアは、GitHub Copilot（AIペアプログラミングツール）を利用して開発を行います。一般的なスクラッチ開発より、10～40%程度の生産性向上が見込まれます。

プロジェクト計画・管理

貴社プロジェクトマネージャーの支援を通じ、貴社にとって適切なプロジェクト計画・プロジェクト管理手法を策定いたします。

■ プロジェクト計画

- ・プロジェクト工数の算出
- ・人員計画の策定
- ・プロジェクトリスクの明確化
- ・インシデント発生時の計画策定
- ・サブプロジェクトの策定
- ・コミュニケーションルールの策定

■ プロジェクト管理

- ・デイリーでの進捗予実管理
- ・課題・変更管理
- ・タスク管理
- ・フェーズ完了判断
- ・遅延予測、リカバリ
- ・空き稼働予測
- ・緊急インシデント発生時の増員

■ レポート

- ・QA、進捗報告（デイリー）
- ・定期ミーティング（ウィークリー）
- ・稼働実績の報告（マンスリー）
- ・ステアリングコミッティー（四半期毎）

■ お客様満足度確認

- ・CSインタビュー（PJ単位/年単位）

弊社における標準的なコミュニケーションツール

Webミーティング	チャット	タスク管理	ソース管理
			

開発事例

BtoB Webサービスの開発

- 企業間取引サイト (B2B EC)
- 飲食業向けB2Bマッチングプラットフォーム
- B2B向けファイル共有サービス
- 報道速報配信システム

BtoC Webサービスの開発

- パーソナルオフィス予約管理サービス
- B2C向けECサイト
- 自治体管理システム
- Webサイト (CMS導入)

BtoE 社内システムの開発

- 旅行手配管理システム
- 営業日報システム
- 役所向け申請システム
- 勤怠管理システム
- 治験薬申請システム
- 外国人労働者管理システム
- 食品トレーサビリティ管理システム
- 請求管理システム

CtoC Webサービスの開発

- スキルマッチングサービス

その他

- マイグレーション／コンバージョン案件
(VB→.Net/PHP等)

COBOL オフショアサービスについて

COBOLエンジニアの需給状況・予測について

COBOLシステムの利用企業は、「延命・保全」もしくは「他要素技術へのマイグレーション」の選択を迫られているが、マイグレーションによってシステムのビジネス的な付加価値が上がる可能性は低く、投資金額を考慮すると「延命・保全」が現実的に取りうる選択肢とならざるを得ない。

しかしながら、COBOLエンジニアの需要要求は依然高く、エンジニア不足に対して抜本的な解決策がないまま間もなく2025年の壁を迎える。そのため、下記のような潜在リスクが顕在化していくことが想定される。

- そもそもエンジニア不足の影響で、必要なエンジニアが確保できない
- 確保したエンジニアが退職し、技術が引き継がれない
- 法改正で必要な改修ができない
- エンジニアのモチベーションが上がらず、離職してしまう
- セキュリティリスクを抱える

開発言語	第1回答	比率
a : アセンブラ	1	0.1%
b : COBOL	240	16.3%
c : PL/I	4	0.3%
d : Pro*C	7	0.5%
e : C++	50	3.4%
f : Python	2	0.1%
g : C	83	5.6%
h : VB	58	3.9%
i : PHP	11	0.7%
j : JavaScript	28	1.9%
k : Ruby	1	0.1%
m : PL/SQL	30	2.0%
n : ABAP	3	0.2%
o : C#	112	7.6%
p : Visual Basic.NET	137	9.3%
q : Java	626	42.4%
r : Perl	5	0.3%
s : Shell スクリプト	8	0.5%
t : Delphi	5	0.3%
u : HTML	5	0.3%
v : XML	2	0.1%
w : その他	58	3.9%
合計	1,476	100.0%

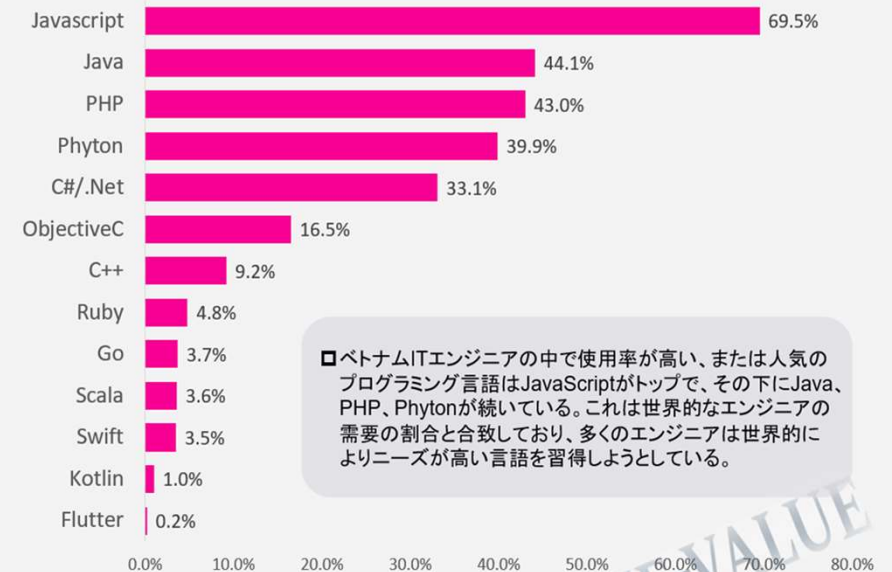
ベトナムオフショアでCOBOL保全体制を構築する際の課題

これまでベトナムでCOBOL対応をした会社は複数存在する。しかしながら、

- そもそもベトナムのIT業界が2000年以降に形成されており、COBOLネイティブな世代ではない
- 若手が多いベトナムでは、COBOLよりもモダンな技術を好むエンジニアが多く、都市部でCOBOL案件にアサインすると離職が発生し、継続性が担保できない
- 要素技術であるCOBOL、また、業務に関する知識が不足しており、若手に教えることができない

といった課題があり、1名から3名程度のごく少数のエンジニアを案件単位でアサインすることができたとしても、継続的な保全・開発体制を構築することは困難であった。

ベトナムITエンジニアが用いるプログラミング言語



出所: 「2020年のIT市場についての調査」TopDv. (2019)

当社のCOBOL特化型オフショア開発サービスについて

13

当社の子会社であるSystem Sustainability Services Vietnamでは、ベトナム国内における唯一のCOBOL特化型企业として、COBOLエンジニアの発掘・教育・管理プロセスを構築しており、お客様専門のCOBOLチームを、低コストで継続的・長期にわたり担保可能です。

豊富な人材供給

- Hong Duc大学の情報系学部との提携
- インターン生の採用
- 当社への優先採用



COBOL教育体制

- 大学内活動としてのCOBOL教育
- インターン生としての開発実務教育
- 大手企業でCOBOLのオフショア開発経験者の採用

管理プロセス

- 長期に渡るオフショア管理の経験・プロセス化
- COBOL経験者による品質管理

Hong duc大学：1997年設立の公立大学。タインホア省で最もレベルが高く、12,000人の学生がいる。情報系の卒業生は毎年250人程度。

タインホア省について

面積 : 11,132 km² (ベトナムで5番目)

人口 : 3,716,430人(2021年、ベトナムで3番目)

アクセス:

- ・ ハノイから高速道路で2.5時間
- ・ ホーチミンから飛行機で2時間弱

GDP 成長率: ベトナムで5位 (北中部地域の最高成長率)

企業総数: 14,088社 (ソフトウェア会社: 約20社)

IT業界の離職率: 5%以下

大学: Hong Duc大学 (学生数: 12000人)

情報系学部: 250人/年

→ IT企業不足から、IT企業への就職率は40%程度であり

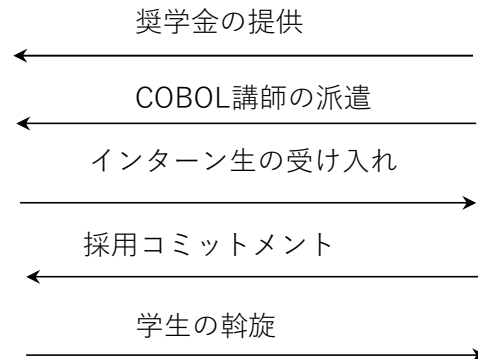
毎年およそ150人がそれ以外の仕事に就く

(地元志向が非常に強く、他地域への転出はほぼしない)



Hong Duc 大学との提携、SanAn社との業務提携について

Hong Duc大学との業務提携（MOA）により、優秀なIT人材を継続的に輩出・確保可能なスキームを構築しています。



営業・マーケティング
オフショア運営ノウハウ
日本人COBOLエンジニア

15



共同出資による新会社
System Sustainability Vietnam

SANAN

オフショア運営
ベトナム人COBOLエンジニア確保

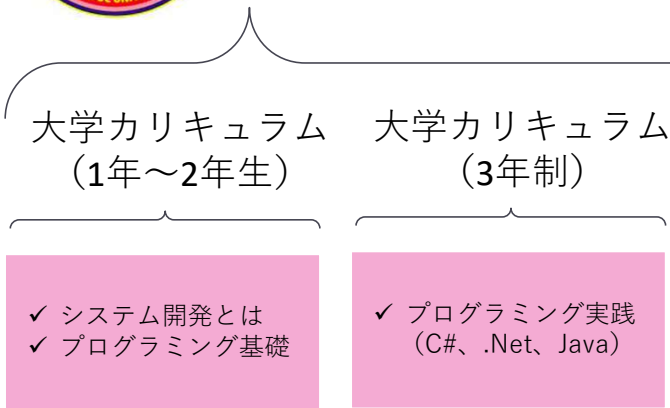
株式会社SanAn Connect（日本法人）
SanAn Software（品質管理専門会社：タインホア）
SanAn Corporation（会社運営機能：ハノイ）



教育体制について



Hong Duc大学内での教育



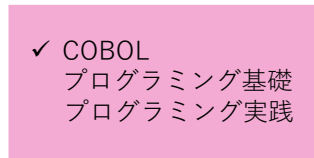
3年生後半～
4年制前半

System Sustainability Vietnam内での教育

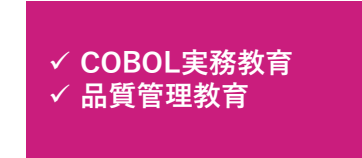
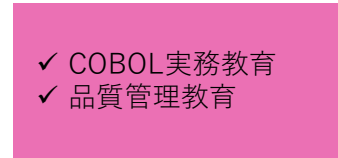
卒業

インターン受け入れ

正社員受け入れ



追加活動 (100h程度を想定)

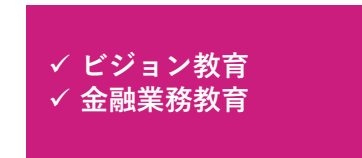
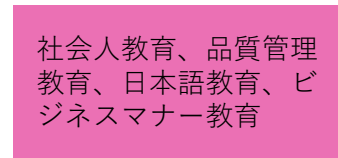


3度の選抜による
優秀層の発掘

選抜

選抜

選抜



サービス提供イメージ



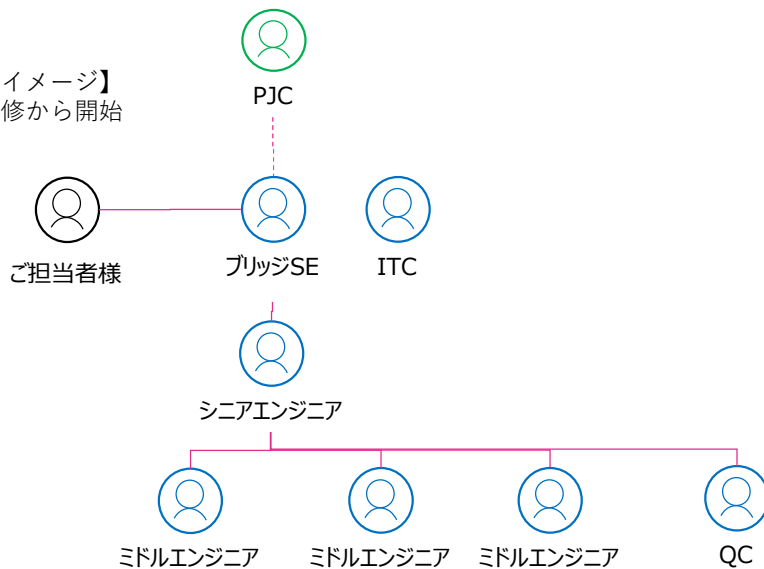
貴社専用チームの体制規模／実施内容／教育方法の検討・合意

- COBOL熟練者によるシステムや業務内容の確認
- ドキュメントベトナム語化
- プロジェクト管理プロセス、品質管理プロセスの構築
- メンバー採用／教育
- 微修正・テストなどの作業実施

• ご要望に基づく開発・保全期間

• 異なる技術要素への移行

【開始時の体制イメージ】
システム微改修から開始



【単価イメージ】

BrSE	:	100万円／人月
シニアエンジニア	:	50～80万円／人月
ミドルエンジニア	:	30～50万円／人月
ジュニアエンジニア	:	20～30万円／人月
インターン	:	10～15万円／人月

※インターン育成より協業可能な場合には、卒業後の価格を、3年間20%程度割引いたします。

4社のメリット

お客様



- ✓ 安定したCOBOLリソースを、大規模、低コストで確保できる
- ✓ 若いリソースのため、長くノウハウを維持できる

学生



- ✓ 奨学金制度で、貧富の差を乗り越えられる
- ✓ IT業界への就職が可能
- ✓ 地方の中では比較的高賃金、安定的
- ✓ 日系企業の安心感

大学



- ✓ 採用コミットがあり、学生を募集しやすい
- ✓ 就職率の向上
- ✓ 優秀な学生がタインホア省から流出しない
- ✓ 無償で教育体制が整う

- ✓ ICT産業拡大のきっかけ
- ✓ 高度人材を維持、流出防止
- ✓ 省の知名度が向上

タインホア省



ご視察について：お気軽にお問い合わせください。

<モデルスケジュール：ハノイ～タインホア～ホーチミン>

日程	内容
Day1 夕方 or 夜	ハノイ ノイバイ空港 到着
Day2 AM	SanAn Corporation/Software 視察
PM	ハノイ市内視察：ベトナム発展地域の視察、ローカル地域の視察
夕食	ブリッジSEとの懇親会
Day3 AM	タインホアへの移動（車で3時間程度）
PM	市内視察 HongDuc大学見学 System Sustainability Vietnam 見学
夕食	大学の情報系教授等
Day4 AM	タインホア市内視察 ～ ホーチミンに移動
Day4 PM	IDS Vietnam 視察 オフショアプロセスの紹介 ディスカッション JETRO（日本貿易振興機構訪問）、ベトナム経済レクチャー
Day5	自由行動、日本に向けてご出発

<視察費用について>

- ・当社アレンジ部分については、費用は頂戴しておりません。（空港送迎、移動費用、各種アレンジ費用）

<お客様ご準備事項>

- ・パスポートの取得（ビザ不要）
- ・航空券のご予約（JAL/ANA/VietnamAir/VietJet 毎日就航）
- ・ホテルのご予約（当社推奨ホテルをご紹介します）
- ・海外旅行保険への加入
- ・お土産やお飲み物など、個人的な物品等購入に必要なお金
- ・携帯用SIMなど

<お客様ご負担費用概算>

- ・航空券 5万～14万円程度（エコノミークラス）
 - ・ホテル 0.5万～1.5万円×3泊 程度（4つ星クラス）
 - ・保険 0.3万円程度
 - ・現地費用 2～3万円程度（お土産、その他個人的な飲食費等）
- 合計 : 12万円～20万円程度
- ※ 専用車の手配などは別途実費を頂戴いたします

ありがとうございました

- www.sma-labo.jp



 内田 / 柴田

 03-5484-7811

 smalabo@ids.co.jp